



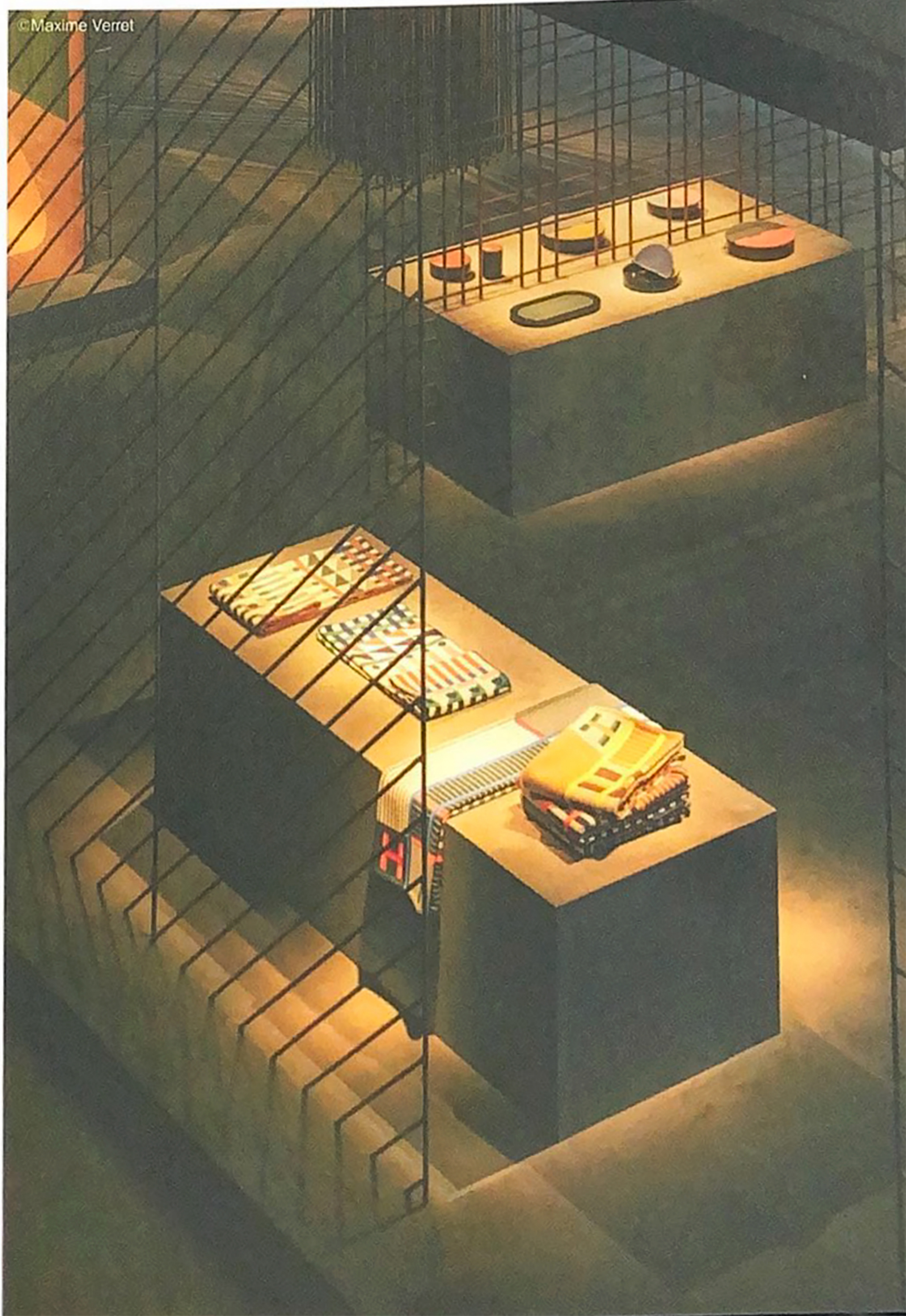
家具にとどまらないPaola Lentiのこれから

新たな旗艦店をオープンする予定のミラノ・マチャキーニ地区で展示を行った、イタリア・Paola Lenti。旧工業地帯にある工場として使われていた複数棟を、今回の展示に合わせて窓ガラスや建具を取り払いスケルトンに。それらの間に庭園をつくり、屋内外で多様なシーンを展開した。鮮やかな色彩が多い同ブランドの家具が無機質な建物とコントラストを描き、ユニークな展示となっていた。今後、ここには旗艦店のほかホテルやレストランを計画中。家具だけでなく建築、アート、グルメ、ホスピタリティを融合した提案を行う予定だ。*

FUORI SALONE

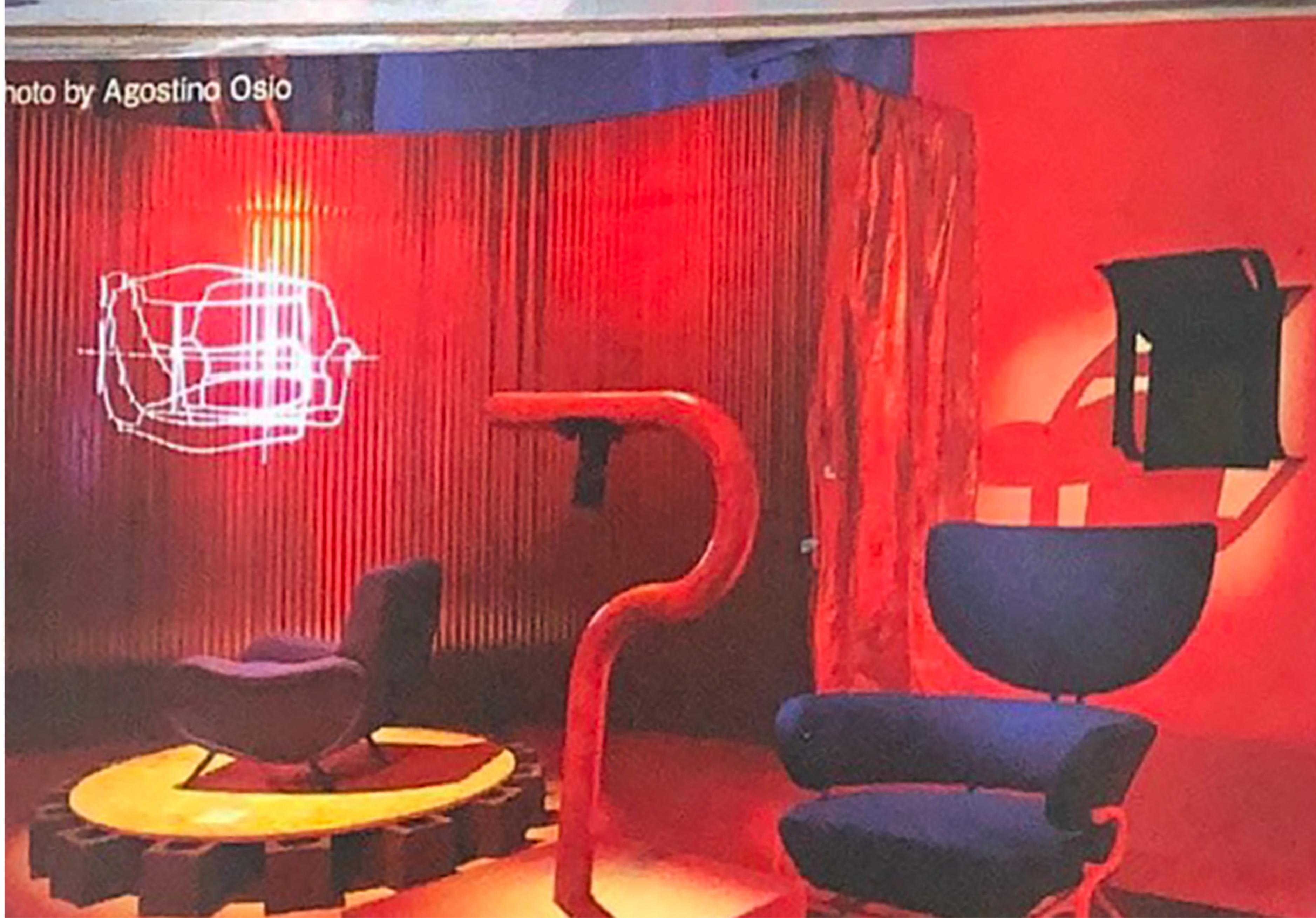
Hermèsが描く、粗く無骨なものに宿る“美しさ”

フランス・Hermèsはミラノの中心地にある、かつてのベタンク競技場で新作を展示。コンクリートを用いた展示スペースに、鉄筋の格子を壁とした無骨な意匠が目を引いた。これは、2023年のホームコレクションのテーマである“本質的なものに宿る力”を表現したもの。華やかな装飾を取り払うことで、オブジェにあしらわれた職人の手による刺繍や、木やレザー、ブロンズといった素材そのものを際立たせる意図だ。一方で、鉄筋の格子は美しいグラフィックを描き、同メゾンらしい洗練されたデザインも見事に同居していた。



名作を辿り、未来を見つめるCassinaの展示

ミラノ・コルドウージオ地区の歴史的建造物では、イタリア・Cassinaが「イ・マエストリ・コレクション」50周年を記念した展示を開催。ブランドの熱意を示す赤い光で満たした2フロアを使い、Charlotte PerriandやGerrit Thomas Rietveldを始めとする14人の巨匠による名作家具やプロトタイプ、スケッチといったアーカイブ、製作過程を表現するインスタレーションを展開した。'23年にはCarlo ScarpaやGio Pontiによる家具を複製している。タイムレスなデザインの継続と探究を続ける姿勢を示す展示となった。





Paola Lenti / Ivy

スウェーデンのデザインスタジオ、Claesson Koivisto Runeによるイタリア・Paola Lentiのサイドテーブル「Ivy」に、プリミティブなパターンが追加された。ステンレス製天板に施されたエナメル加工のパターンはイタリアの作家、Alessandra Malfattiが手作業で描き、一つひとつ異なる表情が魅力。ベースはスチール製。日本での発売未定 / Paola Lenti Japan*



TRIBÙ / PURE

アウトドアに心地良い場を生み出す、ベルギー・TRIBÙの「PURE」コレクションに、デイベッドと天蓋が一体になったカバナが新たにラインアップ。フレームは耐候性が高く経年による色の变化を楽しめるチーク材製。ルーマニアのデザイナー、Andrei Munteanuが手掛けた。張り地のファブリックは全102色(W980+1930+1950×D980/2190×H630/2125 / SH410)日本での発売未定 / ニチエス



MAXALTO / Sileo

ブランド設立から約半世紀を経たイタリア・MAXALTOは、その歴史を継承するような、これまでの家具となじむデザインの製品を発表。アートディレクターであるAntonio Citterioが手掛けた全面ファブリック張りのベッドは、緩やかなカーブが洗練された印象を与える。張り地はファブリック全62種、レザー全4種(W2170×L2150×H1200/380) 1,899,700円〜※マットレス別途 納期：約6カ月〜 / B&B Italia Tokyo